２０１４年８月３０日事務所開き御挨拶

○皆さん今日はお忙しいところ、このように大勢お集まりをいただきましてありがとうございました。また、ご近所の皆さん、お騒がせいたしますが、ご協力ありがとうございます、よろしくお願いいたします。

県議選は、１１月５日告示・１１月１５日投票になりますが、全力を尽くして頑張りますのでよろしくお願いいたします。

○皆さん、４年前の県議選は大震災原発事故のさなかで行われました。地震・津波、原発避難の方が大勢いらっしゃる中の選挙でした。ここいわき市でも一時は１５万人以上の市民が避難したと言われますが、私は、原発爆発を気にしながらガソリンをやりくりし、さまざまな要望を市に届け交渉したり、避難できないお年寄りなどの要望に応えたり、リックサックをしょって駆け回っていました。日本共産党はボランテアの政党として、全国のご支援もいただきながら、物資や人的支援など、国や県・市を動かし、暮らしを取り戻したいと頑張りました。支援策を書いた日本共産党のビラを握りしめ、皆さん必死で待っててくれました。幸い私の事務所は水道が止まらなかったので水も提供することもできました。

○皆さん、大震災・原発事故から４年半がたち一定の復興もできましたが、いまだ、漁業も再開されずコメの値段も浜通りは特に低く、観光も汚染水問題などで影響を受け続けています。住宅問題や道路の改修もまだまだです。多くの避難者を受け入れているいわき市や市民に対し、国も県も、医師・看護師・介護師確保などの支援策などを強めるべきです。

国は、福島はもう終わったとばかりに、復興予算の削減や支援制度を終わらせるのではなく、原発再稼働をやめ、再生可能エネルギーで産業を復興させ雇用を増やす方向に舵を切るべきです。

○皆さん、今後４０年以上かかると言われる事故原発の安全な収束、いまだに実現されていない第二原発の廃炉を実現するためにも、国や県にはっきりものが言える日本共産党の県会議員が、引き続きいわき市から２人、全県的には６人以上になってすべての専門委員会に入れるようにならなければなりません。

○皆さん、県の制度として、皆さんと運動を進めて実現した、子どもの医療費無料化１８歳までを引き続き行わせること、また、派遣労働やひとり親家庭が多くなり子どもの貧困も進んでいる中、学校給食の無料化や学童保育・保育料軽減、給付型奨学金創設など子育ての負担軽減に市町村と協力し進めたいと思います。

要望の多い、特老ホーム入所待ちが解消できるように、介護の負担軽減や、また、市から県の制度になる国保税負担軽減などに取り組みます。

○最後に、大問題になっている「戦争法」・集団的自衛権を行使するための安保法制・戦争法についてですが、国会の審議でいよいよ軍部独走の危険性・アメリカと一緒に地球の裏側まで行って戦争ができる国を作る事だ、ということが誰の目にも明らかになってきました。

政府はまともな答弁ができず、ボロボロの法案になっています。

今日３０日は国会前での１０万人集会・全国では１００万人集会が開かれます。ここいわき市では午後２時から平小太郎公園で大集会が開かれます。参加ご希望の方はご一緒に行きましょう。そして必ず廃案にさせましょう。

○皆さん、戦争する国づくりは膨大な軍事費増強になってきます。今度アメリカから買うオスプレイ１７機の値段は３６００億円で、今年度の社会保障費削減金額・３９００億円に匹敵します。年金を削り医療費や介護の負担を増やす一方、軍事費を増やし続ける、こんな政治を許せるでしょうか。

福島県議会の、自民党・公明党の議員は、戦争法廃案・慎重審議を求める意見書に反対しました。自民党の女性議員は街頭宣伝中に戦争法の事を聞かれたら街宣をやめると言い、またある議員は私も反対だと言いますが表立っては言えません。原発再稼働や戦争法など国にものが言えない議員では県民の願いは実現できません。

○私は長谷部県議とともに、この４年間、ＪＡ・森林組合・漁協組合・建設業協同組合・商工会議所・医師会・などを訪問し対話を重ねてきましたが、多くの問題で意見が一致しています。皆さん国が進めるやり方に矛盾を深めています。日本共産党県議団が大きくなれば、オール福島の声を国に届ける力が広がります。大震災後５人の県議団になった力で福島原発全機廃炉の意見を国に挙げることができたように、オール福島の声をさらに大きくしていく事ができます。

○皆さん、私は、政治の原点は皆様方お一人お一人の声だと思っています。困りごと相談ごとは皆様の大事な声であり政治に何を求めているかの原点だと思っております。この立場を今後とも大事にしてまいります。

この事務所で、２か月半、全力で頑張りますので皆様の大きなご支援よろしくお願いいたします。今日は本当にありがとうございました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上